

2010年11月30日

ご参考資料

楽読
(ラクヨミ)

Vol.322

拡大見通しが続く世界のエネルギー需要

Raku
Yomi

楽読(ラクヨミ)

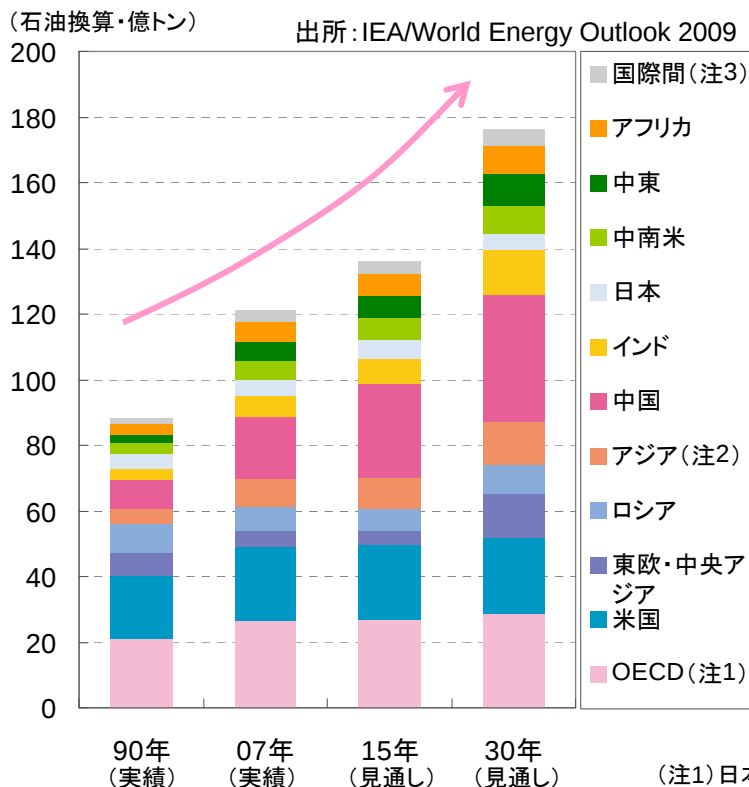
nikko am
fund academy

世界のエネルギー需要は、新興国の相対的に高い経済成長や人口の増加、都市化の進展、自動車保有の増大などを背景に押し上げられ、今後も長期的に増大するとみられています。

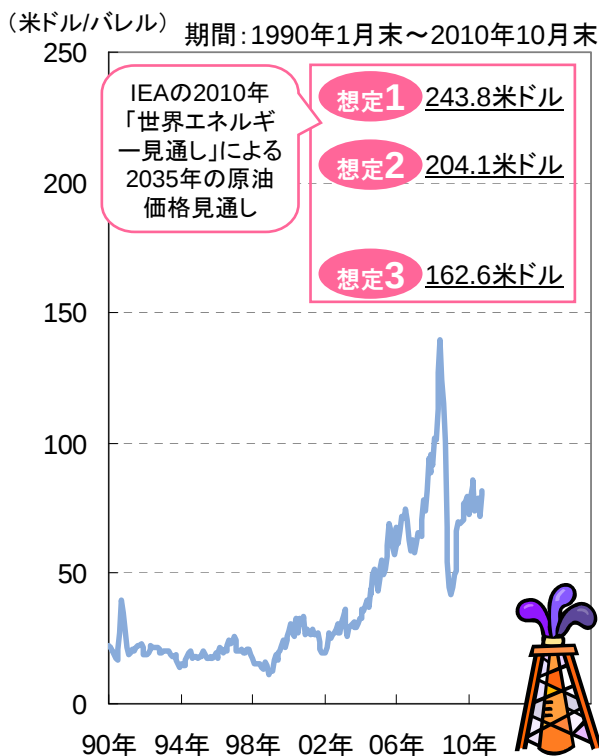
IEA(国際エネルギー機関)が今月発表した、2010年の「世界エネルギー見通し」によると、2035年までに世界のエネルギー需要が増大する中、化石燃料(原油・ガス・石炭)がエネルギー源の大半を占めるなど、その重要性は現在と変わらないとみられています。化石燃料の一つ、原油の価格については、現在のエネルギー政策を各国政府が継続した場合(想定1)には、2035年に1バレル=243.8米ドルに上昇すると予想されています。また、各国政府が表明済みの温暖化対策を実行に移した場合(想定2)には204.1米ドル、思い切った温暖化対策が採用された場合(想定3)には162.6米ドルと予想されています。

足元で世界経済を取り巻く環境は不透明さを増していますが、中長期的な観点からはエネルギー需要の拡大を疑う余地はなく、加えて、化石燃料の供給量には限界があることを考えると、需給逼迫などに伴うエネルギー価格の上昇や、代替エネルギーの需要増加が考えられます。そのため、今後もエネルギー資源を持つ国、また、代替エネルギーなどに関する高い技術を持つ企業などへの関心は長期にわたって高まっていくものとみられます。

世界の地域別エネルギー需要の見通し*



原油先物価格の推移



*データ取得の都合上、2009年エネルギー需要見通しを掲載
 ※上記は過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。
 (IEAなど信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが市況等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。